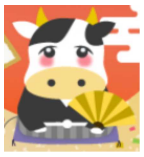
すなやま

和歌山市立砂山小学校

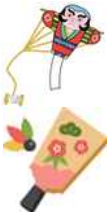
１月号　令和３年１月６日発行

謹賀新年



校長　小杉　栄樹

新年あけましておめでとうございます。令和３年（２０２１年）うし年が始まりました。本年もどうぞよろしくお願いします。



今日は、久しぶりに学校中に子どもの声が響き渡り、元気で三学期を迎えることができました。おかげさまで、冬休み中に大きな事故やけがの報告もなく健やかに過ごすことができたのも、保護者や地域の皆様のおかげと感謝しています。

「目標」と「挑戦（チャレンジ）」

１年の始まりに当たり、子供たちには「目標」をしっかりもち、その「目標」に向かって「挑戦（チャレンジ）」してほしいと思います。１年の目標、１日の目標、１時間の目標など様々です。人によっては、何年もかけてやり遂げる目標があるでしょう。目標は立てたものの、やりたくないことにぶつかったり、できないと思ってあきらめてしまったりすることもあるかもしれません。調子のよいときは、いくらでもがんばれます。でも、調子が悪くなりかけたときやくじけそうになった時のがんばりこそが本当のがんばりです。

「１日の計は朝にあり、１年の計は元旦にあり」ということばがあります。「何でも行き当たりばったりでは、うまくやり遂げることができない。まず計画や準備をしっかり整えて、最後までがんばろう」という意味です。新しい年を迎え、どの子も、「こんなことに挑戦するぞ」とか「これをがんばる」などの思いをもっています。子供たちがその思いをもち続けられるよう、励まし、支援していくことが大人の役割だと思います。

短い３学期です。６年生は卒業まで４９日。１年から５年までは５３日です。悔いのないよう、それぞれの学年の締めくくりをし、新しい学年にバトンタッチしてほしいと思います。

☆ユネスコ世界寺子屋運動☆

「１１枚の書きそんじハガキで１人がひと月学校に行くことができます。」毎年ご協力ありがとうございます。

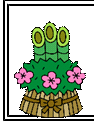
職員室前に書きそんじハガキを入れる箱を用意していますので、ご協力をお願いいたします。

◇阪神淡路大震災から26年が経ちました◇

今から 26 年前の 1 月 17 日午前 5 時 46 分に、6434 人の尊い命が犠牲になった「阪神淡路大震災」が発生しました。今年も兵庫県内各地で追悼行事が行われる予定ですが、新聞によると、コロナ禍のために、さらには、震災から 20 年以上がたち、被災された方々の高齢化が進み、追悼行事の中止や縮小が相次いでいるそうです。東日本大震災の３・１１と阪神淡路大震災の１・１７は、絶対に忘れてはならない日です。今後発生するであろうと言われている南海東南海地震に備え、常に防災意識をもたなくてはなりません。砂山小学校でも、昨年 10 月 27 日に砂山保育所とも連携して、地震津波対策の避難訓練を行いました。海に近い砂山小学校は県の作成するハザードマップで、津波による浸水の可能性が高くなっています。地震津波が起こったら、どのように行動するのか？　学校では？　家では？　通学中なら？あらゆる場合を想定して、避難場所を決めておいたり、防災用具を用意しておいたりすることが大切ではないでしょうか。震災を風化させないために、若い世代が未来永劫語り継いでいなければなりません。今年の 1 月 17 日には、ご家庭でも子供たちと、震災について、避難方法について、防災用品について、じっくり話し合いをしてください。

新年の詩

詩人「石川啄木（いしかわ　たくぼく）」の作品に、元日の詩があります。



なんとなく
今年はよいこと　あるごとし
元日の朝　　晴れて風なし

今年の元日も晴れてすごく穏やかな一日でした。
今年一年も、この元日の朝のように穏やかな一年であってほしいと思います。